

『安全保障戦略研究』執筆要領

令和2年5月29日

安全保障戦略研究編集委員会編集委員長

1 フォーマット・書式

- (1) 原稿書式はA4用紙、上余白35mm、下左右余白は30mm、40字×36行とする。
- (2) 日本語は全角（括弧含む）・「MS明朝」、英数字は半角・「Century」とする。
- (3) 論文表題（副題含む）、本文ともに10.5ポイントとする。なお、脚注内テキストについては9.0ポイントとする。
- (4) 副題の両端には2点ダシ（——）を置く。
【例】「人口動態と安全保障——22世紀に向けた防衛力——」
- (5) 単位については原則的に記号を用いる。
【例】8%、4kg、1,500km、9.3kt
- (6) 英語の日付の順番は「月日年」で統一する。
【例】September 25, 2009、Sep 25, 2009
- (7) 文字数は、20,000字を上限とする。ただし、半角の英数字は1/2文字としてカウントする（*）。
*MSワードの「文字カウント」機能で、「文字数（スペースを含めない）」の字数と「全角文字+半角カタカナ」の字数を足して2で割った値が、20,000字以内に収まっていれば良い。

2 本文

- (1) 本文における大見出しには「1.」を、中見出しには「(1)」をそれぞれ付し（全角）、これらより下位の見出しには、「ア」、「(ア)」等を適宜使用する。ただし項目立ては3階層程度に留めること。
- (2) 序論部分（「はじめに」、「序論」等）および結論部分（「結論」、「まとめ」、「結びにかえて」等）には番号は振らない。
- (3) 外国人名（漢字文化圏を除く）は初出時にフルネームをカタカナ表記した後に欧文表記（全角丸括弧内に半角アルファベット）を付記する。
【例】「デビッド・リカード(David Ricard)」、「フランソワ・ケネー(François Quesnay)」

3 図表 ★図表には、色付けされません（黒白の濃淡での表現は可能）

- (1) 図表とその標題は、左右中央に配置する。
- (2) 図の標題は図の下、表の標題は表の上に付する。
- (3) 図・表毎に論文中での通し番号を付する。
【例】表2 世界の人口動態（2015年推計）

4 脚注

(1) 原則

- ア 注はすべて脚注とする。
- イ 同一論文においては注の形式の一貫性を持たせること。
- ウ 脚注の様式については、本執筆要領によるほか、『防衛研究所紀要』最新号を参照すること。

(2) 日本語文献

ア 単行本

- 著者名（翻訳者名）『書名』（出版社、出版年）頁。
- 著者名「章名」編著者名『書名』翻訳者名（出版社、出版年）頁。

イ 論文

- 著者名「論文名」『掲載誌名』巻号数（発行年月）頁。

ウ 新聞

- 『新聞名』発行年月日（夕刊の場合は明示）。

(3) 欧文文献

ア 単行本

- ・著者、書籍タイトル（出版地：出版社、出版年），p. ページ番号。
- ・著者，“章タイトル，” 書籍タイトル，ed. 編者（出版地：出版社、出版年），p. ページ番号。

【例】

- ・ David M. Glantz, *Soviet Military Operational Art: In Pursuit of Deep Battle* (London: Frank Cass, 1991), p. 65.
- ・ Pat Towell, “Congress and Defense,” in *Congress and the Politics of National Security*, ed. David P. Auerswald and Colton C. Campbell (Cambridge: Cambridge University Press, 2012), pp. 79-80.

イ 論文

- ・著者，“論文タイトル，” ジャーナルタイトル，vol. 巻数，no. 号数（月/季節 年），p. ページ番号。

【例】

- ・ Barry Edwards, “Does the Presidency Moderate the President? *Presidential Studies Quarterly*, vol. 47, no. 1 (March 2017), p. 13.

ウ 新聞

- 著者，“記事タイトル，” 新聞タイトル，刊行年月日，p. ページ番号。

【例】

- ・ Laurie McGinley, “FDA Nod Could Clear Path for “Living Drug’,” *Washington Post*, July 12, 2017, p. A1.

エ インターネット上の文献

(ア) 一般的なウェブページ

著者(ある場合)，“当該ページのタイトル,” ウェブサイトの所有者, 刊行日/最終更新日, URL.

【例】

- “U.S. Navy: Navy Cross Recipients,” Department of the Navy, last updated June 1, 2017, <http://valor.defense.gov/Recipients/Navy-Navy-Cross-Recipients/>.

(イ) オンライン定期刊行物

通常の注記の末尾に URL を付ける (アクセス日は不要)。

- Robert Pear and Thomas Kaplan, “Senate Republicans Unveil New Health Bill, but Divisions Remain,” *New York Times*, July 13, 2017, <https://www.nytimes.com/2017/07/13/us/politics/senate-republican-health-care-bill.html>.

オ 欧文献の注記についてより詳細なガイドラインは *Chicago Manual of Style*、あるいはこれを簡潔にまとめた “Chicago-Style Citation Quick Guide,” http://www.chicagomanualofstyle.org/tools_citationguide.html を参照。

(4) 既出文献の再引用

ア 注において同一文献の引用が続く場合は著者名・文献タイトルを省略し、「同上」(日本語文献の場合)、「Ibid.」(欧文献の場合)と表記。ただし、op. cit.は使用しない。

イ 既出文献を、他の文献を引用した注を挟んで、再度引用する場合には、著者性(名は省く)の後に当該文献のタイトルを短くしたタイトルを記すこと。

【例】

- 初出 : Robert M. Gates, *A Passion for Leadership: Lessons on Change and reform from Fifty Years of Public Service* (New York: Knoff, 2016), p. 20.
- 2回目以降 : Gates, *A Passion for Leadership*, p. 21.

